

## 第2回部長会議要約

- 日時 平成27年5月12日(火) 午後3時～
- 場所 市役所別館3階会議室
- 出席者 中野市長、吉田副市長、馬場副市長、吉原教育長、塩野上下水道事業管理者、石川病院事業管理者、各部長
- 欠席者 (無)
- 案件 1 政策推進部  
・ 柏原市第2次定員適正化計画について
- その他 ○教育部所管事項  
・ 自然体験学習施設完成式典について
- 病院事務局所管事項  
・ 市民公開講座の開催について
- 総務部所管事項  
・ 台風情報等防災関係事項について
- 財務部所管事項  
・ 出納閉鎖について

### 【中野市長】

- ・ 新年度が始まって2カ月目、ゴールデンウィーク明けということで、4月1日から新しい体制でやっていただいた中で、実質的にこの連休明け本年度課せられたそれぞれの部局の案件について本格的に取り組んでいただけるスタートラインということになると思う。今年、着任3年目ということで、1年間、2年間皆さんとともに色々議論する中で組み立ててきた部分をこの後半の2年間、いよいよ一つずつ形にしていく。そして、一つずつ実際の改革に入っていくという2年間である。今までのように議論だけで終わるという形ではなく、実践の2年間。その中で、庁内の調整あるいは市民の皆様方に対する説明、もちろん議会に対する説明という実践の段階であるということ、我々共に共有していただきたい。そういった形で、いよいよ激しい積み重ねを、すでに始まっている部分もある。そして、午前中は教育委員会の方でも新たな「総合教育会議」の第1回を開催し、新しい体制で動いていただき、病院の方も今年度初めから両トップ新体制ですでに始まっている。そういった形で、この2年間の形、仕事の体制、そして重ねて言

うが、今まで言ってきたように、より一層部長という立場を活かしていただき、どれだけ部下の皆さんを使えるかということ、全て部長が抱えていては部長の本領が発揮できないので、常に頭の中を身軽にさせていただき、最高のコンディションで部長として仕事に取り組んでいただけるという体制を各自備えていただきたい。

最後に、本日台風がかすめていくが、いよいよ今年も6月7月に向け、災害のシーズンということで、これも部局を超えて本市の災害のマニュアルどおり迅速な動きで、まずは市民の命を守るということを念頭に置くという最大の我々の任務なので、よろしく願います。

## 案件1 政策推進部

### ○ 柏原市第2次定員適正化計画について

#### 【政策推進部長】

- この定員適正化計画については、平成27年度から36年度を見据えたもの。
- 1頁から4頁までは、これまでの推移や経過等を記載しているので、ご一読いただきたい。
- 5頁はこの計画の内容についてということで、まず1点目に計画の方針として、この定員管理については「財政秩序を回復し市民の視点に立つ真の市民自治の確立に向けた持続的、自立的な行財政基盤の形成」を実現するために、少数精鋭そして柔軟で簡素な職員体制作りを目指すということ。
- 2点目に計画期間として平成27年度から31年度までの5年間を前期、平成32年度から36年度までを後期とする。なお、10年という長期スパンなので、後期の計画については前期計画の進捗状況を検証しつつ、人口の動き、社会情勢、新たな行政課題等もあるので、そういったところを踏まえて見直していきたい。
- 3点目として、対象職員。これについて今回の計画では、再任用常勤職員を含むとする一般職の常勤職員の総人件費を削減して適正な財政運営を行っていくにあたっては、やはり臨時・非常勤職員等について、一定管理をしていく必要があるが、まずこの計画においては常勤職員の定数管理ということで策定していきたい。
- 4点目として、この定員管理の目標ということで、実際の所を書いている。数値目標としては、平成27年4月1日の普通会計職員、市立柏原病院を除いた公営企業等会計職員の計、再任用職員を含めて487人、これを起点として計画を示している。そして、目標設定にあたっては、①再任用制度が平成26年度から義務化され、平成28年度に新たに再任用職員となるものから再任用の可能な期間が62歳までの2年間となり、そのあとは段階的に65歳まで延長されることになる。このうち、常勤再任用職員については定数内に含まれることから、増減に十分配慮しつつ、再任用職員はその培った経験を活かして適材適所で職員と同様の業務を担うこととする。

- ・ ②として、人口予測では今後 10 年間に本市の人口が約 5 千人減少する見込みがあることから、これを一つの基準として平成 36 年度までにそれに見合う職員数として、27 名を削減することとする。また、再任用職員を積極的に活用するというので、再任用職員を除く常勤の職員数では 54 人の減少になる見込みである。
- ・ 以下 6 頁目にある表 5 が「年度別職員数の目標」。これに基づいて欠員補充数は表中にあるとおりで、これを採用によって補っていくということになるが、長期的な組織運営に影響を与えないように、職員の年齢構成等平準化を考慮しつつ、今後年度内における範囲内で柔軟に対応していきたい。
- ・ また、6 月には人事課より各部長へ部の業務とアルバイトを含めた人員に関する調査をさせていただきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。
- ・ 7 頁目には定員管理に向けた取組ということで書いており、ご一読いただければ理解していただけると思うので、以上で説明を終わるが、この第 2 次定員適正化計画を作らせていただき、これに甘んじることなくきちんとこの計画を進めながら、なおかつ業務のスクラップ部分では正職を出来るだけ少なくしていく。この計画では正規職員をベースにしているので、今年度については特に事務職非常勤、臨時職員、嘱託職員等についても人事課の方で再度チェックし、財政部局とも協力して、なんとか総人件費の削減を進めていきたい。

#### 【中野市長】

- ・ 本市の将来的な人件費についての考え方として、総人件費を圧縮していく。その中には、将来的にもう必要ない部門も発生してくると思う。そういったことも色々毎年検討しながら、総人件費をとにかく圧縮していくという形。そして、いま 60 歳になれば定年ということだが、世の中の流れを見ていると 65 歳、これも大変健康でありまだまだ働けるということを鑑みて、技術あるいは知識、経験をさらに伝承していただく。これもいわゆる仕事の中でのトレーニングということだが、後輩への指導ということも含めて 65 歳まで働ける者あるいは意欲のある方、個人の考え方だが、40 年近く働いていただいてやっこの 60 歳でひと区切りという方もいれば、まだまだやるぞということやっていただける方もいるので、積極的に再任用として頑張りたいと思う。このような見通しと体制で本市役所の総人件費の圧縮というテーマに向かい、皆さんの知恵、意見をいただきながら方針を立てていきたい。その方針に向かっていきたいと思うので、よろしくをお願いしたい。

#### ○その他

教育部所管事項「自然体験学習施設完成式典について」

- ・ 去る 5 月 10 日、日曜日に前回の部長会議でご案内した自然体験学習施設完成式典には、

理事者をはじめとして各部長の皆様方のご出席を賜り盛大に開催できたことを心からお礼申し上げます。今後はこの活用について、各部門において利用をご検討いただき、にぎわいを進めていきたいと思うので、各部長におかれては今後ともご協力をお願いしたい。

#### 病院事務局所管事項「市民公開講座の開催について」

##### 【病院事務局長】

- ・ 市立柏原病院の市民公開講座を6月13日土曜日、午後2時から4時まで、リビエールホール小ホールで開催する。講座としては、「糖尿病治療の取組」ということで、新たに來られた内分泌内科副医長の武田先生、2番目に「妊娠・出産・育児とホルモンについてー“幸せホルモン”オキシトシンを中心にー」ということで、これもこの4月から來られた産婦人科部長の寺田先生から、3番目に「脚の血管の病気について」ということで、循環器内科の副部長の實正先生、この3人の講演があるので、職員や家族の方、隣近所の方をお誘い合わせのうえ、参加をお願いしたい。

#### 総務部所管事項「台風情報等防災関係事項について」

##### 【総務部長】

- ・ 台風の情報について、大きな台風が2、3日前から接近していたが、幸いなことにスピードが上がるとともに勢力は弱まり、1時間ほど前の状況で992ヘクトパスカル、日本の南海上を通過していく見込みになっている。また、気圧が上がってきたので風もそれほど心配ないと考えており、今柏原市も穏やかな状況となっている。すでに、台風付近のレーダーを見ると雨もあまりないようで、このまま過ぎ去ってくれば良いと思っている。従って、今回の台風に関しては特別な配備態勢は取らずに、念のため引き続き情報収集しながら、職員については自宅待機をお願いしたいと考えている。危機管理課では、引き続き情報収集にあたり、今後警報が発令される等の変化があればすぐに連絡を回すことになる。この連絡については、異動等に伴う変更などがまだできていない部署があるようで、危機管理課で土砂災害等に対する避難所対応の暫定版を作成し、本日4時過ぎにサイボウズで回覧するので、それをご覧いただき、万一来に備えていただきたいと考えている。
- ・ 台風については以上だが、合わせて今回地域防災計画の改定作業を行っている。先日の部長会議でも申し上げたが、各課の意見を出来るだけ取り入れたいと考えており、現在の防災計画の中で自分の所管しているところについて再度確認していただき、現在割り振っている所掌事務を、他市の状況も比較して見直しを今回行いたいと考えているので、近々危機管理課から各課に連絡し、6月から意見を順に聞いて防災計画を仕上げていきたいと考えている。
- ・ 最後に、安否確認メールだが、携帯電話番号が変わった等で一部不通になる例があるようなので、その場合は危機管理課で登録変更していただきたい。新規採用職員は登録が

ないので、それについても協力をお願いしたい。

財務部所管事項「出納閉鎖について」

【財務部長】

- ・ 企業会計を除き、5月29日をもって出納閉鎖となる。一定大きな支払いは済んでいると思うが、今一度支払い漏れがないか、精算行為がすべて終わっているかを各担当課へ確認願いたい。
- ・ 歳入については、大阪府からの補助金が最終日の1日2日の間に大量に入ってくるが、まだ調定があがっていない状況である。確定していないこともあると思うが、現時点で確定している分は速やかに調定をお願いしたいことと、一定不確定な部分についても、特に会計管理室に報告をお願いしたい。速やかな出納閉鎖のためにご協力をお願いしたい。

【司会者から他に案件等がないか確認後、会議終了】